

20番 小野泰秀 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 空き家対策について	<p>① 国の「空き家対策措置法」が完全施行され1年が経ちました。本市においても空き家が増え、特に管理されていない空き家が目につくようになりました。今後はさらに建物の老朽化が進み、近い将来倒壊の危険性や治安の悪化が予想されます。本市の空き家状況の把握はされていると思いますが、どのような基準で空き家とみなしているのか。また現在、「空き家」と「特定空き家」は何件あるのか。</p> <p>② 空き家等が放置されて管理不全な状態にあると、倒壊や火災、不法侵入など、防犯上様々な危険に遭う恐れがあります。こうした空き家の所有者に対し「豊後大野市空き家等の適正管理に関する条例」により、助言、指導、更には勧告、命令を行い、命令に従わないときには住所及び氏名を公表するとあるが、これまで行ってきたそれぞれの件数とその成果は。</p> <p>③ 住居用家屋が建っている土地につきましては、住居1戸当たり200平方メートルまでは固定資産税が6分の1、また、200平方メートルを超える部分については3分の1となる特例があります。しかしながら、こうした住居用地特例制度が空き家等の撤去の障害になっていることから、地方税法が改正され、法に基づく勧告がなされた場合、当該空き家等に係る土地については、住宅用地特例の対象から除外されることになっております。本市における空き家に対する固</p>	市 長	市 長

	<p>定資産税等住宅用地特例の適用除外を受けた件数は。</p> <p>④ 空き家の状態のよいものを利活用に向けて設置した空き家情報バンクの利用状況と、また登録の促進に向けて改善した点、あるいは問題点はあるのか。</p> <p>⑤ 空き家とあわせて市内商店街では、空き店舗が増えており、危険性や景観、防犯上も大きな社会問題となっています。解体撤去や再利用するために国の交付金制度もあるとお聞きしましたが、その内容について具体的にお教えいただきたい。</p>		
2 基金について	<p>① 合併後12年目を迎え、平成32年度の一本算定に向け、地方交付税もすでに昨年度（平成27年度）から5年間、1割、3割、5割、7割、9割と段階的に削減されていくが、平成27年度の地方交付税の削減は2億6千万円であったが、残りの4年間の毎年の削減金額と、最終的には一本算定はいくらになると想定しているのか。</p> <p>② 基金には、特定の目的・活用のために資金を積み立てていく積立基金、それから、定額の資金を運用するための運用基金の2種類に分かれると思うが、それぞれいくつあるのか。</p> <p>③ 地方交付税が削減されていく中で一番重要となる基金は。</p> <p>④ 一本算定までの5年間で増額しなければならない基金はあるのか。</p> <p>⑤ 本市の基金は、他の同等の財政規模の類似団体と比べ保有率はどうか。</p>	市長	財政課長

7 番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求 め た 者	答 弁 者
<p>1 安全・安心の避難所を</p>	<p>① 自主避難所の指定について。 今回の自主避難所は、どのような判断で指定しましたか。</p> <p>② 避難所として予定されている施設について。 耐震強度に不安がある施設は、耐震の強化を行うべきではありませんか。 避難者が過ごす場所は、せめて畳の部屋が必要ではありませんか。 避難所には、毛布や厚手のマットを、日ごろから常備しておくべきではありませんか。 自治公民館等も含めた避難所の指定について、総合的に見直す必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>③ 民間の会社や施設で、耐震強度がある建物を、避難所として指定させていただくことはできませんか。</p> <p>④ 福祉避難所について。 福祉避難所は、どのような方が、どのような時に利用できるのですか。またそのことを、対象の方に、日ごろから周知できていますか。 対象の方は、直接福祉避難所へ避難できるようにすべきではありませんか。</p>	<p>市 長</p>	<p>市 長</p>
<p>2 再生可能エネルギーの促進を</p>	<p>① 市営太陽光発電の状況について。 初めて4月1日から一年を通じて発電を行った2015年度の状況について、発電所ごとの発電状況及び稼働率、並びに特別会計の決算見込みを伺います。</p> <p>② 新電力供給会社の設立について。</p>	<p>市 長</p>	<p>①環境衛生課 長 ②地域創生課 長</p>

	<p>市営太陽光発電事業は、売電開始から20年間、1kWhあたり40円(+税)で九州電力に買い取っていただく事業として、市民に説明してきました。市営太陽光発電の売電先を九州電力から新電力会社に切り替えることの合理性を、市民に説明する必要があるのではないのでしょうか。また、九州電力との契約は解除することになるのでしょうか。その場合の違約金は発生しないのでしょうか。</p> <p>現在、市営太陽光発電は1kWhあたり40円(+税)で九州電力が買い取っています。これを新電力会社が買い取った場合、新電力会社はそれ以上の価格で契約者(一般家庭、会社等)に売らないと、経営が成り立たないのではないのでしょうか。</p> <p>連携協定を行うとしている福岡県みやま市のみやまスマートエネルギーの料金体系は単身や少人数世帯、収入が少なく節電に努めている世帯などにとっては恩恵がない料金体系に見えます。この構想が、エネルギーの地産地消によって市外に価値が流出するのを減らし、地域に価値を回す一環であるなら、全ての世帯が契約したくなる料金体系、恩恵が受けられる料金体系にすべきではないのでしょうか。</p> <p>新電力会社の設立により、雇用の場が増えることは喜ばしいことですが、何人程度の雇用を見込んでいるのでしょうか。さらに、その賃金は、相場よりも高く設定することで、地域に回る価値が多くなると思いますが、いかがお考えでしょうか。</p>		
--	--	--	--

17番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
<p>1 大分都市広域圏ビジョンにおける豊後大野市としての事業推進について</p>	<p>第2次豊後大野市総合計画で、広域連携の推進、新たな広域連携制度を活用し、連携中枢都市の大分市と本市をはじめ8市町が一体となって「大分都市広域圏」を形成するとあり、3月29日大分市を「中枢都市」とした大分都市広域圏連携協約の調印が行われ、今後5年間に取り組む31事業をまとめた「大分都市広域圏ビジョン」が決定されました。</p> <p>豊後大野市として31事業をどのように進めて行くのか、その考えと4月以降の取組状況について伺います。</p>	<p>市 長</p>	<p>市 長</p>
<p>2 地域医療構想について</p>	<p>2014年に成立した医療介護総合確保推進法に基づき、地域医療構想策定に必要な協議を行うため、豊肥地区においても20名からなる委員で地域医療構想調整会議を立ち上げ、これまで3回の会議を開催したとのこと、大分県が策定する地域医療構想について豊後大野市民病院としては、どのような取組状況にあるのか伺います。</p> <p>地域医療構想を踏まえ、公立病院として地域及び市民のために、今後どのような構想の中で病院づくりをしていくのか、見解を伺います。</p>	<p>病院事業管理者</p>	<p>病院事業管理者</p>
<p>3 道路改良（下山～片島線）に伴う進捗状況について</p>	<p>道路改良により着工がなされている農免道路（下山～片島線）への取り付け工事における進捗状況について伺います。</p>	<p>市 長</p>	<p>建設課長</p>

3番 赤峰映洋 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 文化財の保存や管理は現在どのようなになっているのか	① 遺跡等の遺物や歴史資料の保管場所は十分確保されているのか伺う。 ② 本市に多数存在する石橋や石仏の保存管理について伺う。 ③ 歴史民俗資料館との連携はどのようなになっているのか伺う。	教育委員長	教育長
2 太陽光発電は順調に推移しているのか	① 想定売電額は達成しているのか伺う。 ② 想定外の問題は起きていないのか伺う。	市 長	市 長
3 住宅団地造成で定住促進を	① オリジナル住宅構想に伴う大野高校跡地の計画の進み具合について伺う。 ② 旧県職員住宅跡地を購入し宅地開発の後、分譲予定であるが、分譲開始を早くする努力を。	市 長	まちづくり推進課長

11番 長野健児 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 オリジナル住宅構想事業について	<p>第2次豊後大野市総合計画が策定され、人口減少に歯止めをかけるべく、定住促進事業の一環としてオリジナル住宅構想事業が提案され予算化された。その内容は、旧大野高校跡地を分譲住宅団地として整備するものであります。若者定住対策としては大いに評価・希望するものであります。同時にそのリスクも大きいものがあると考えます。従って、市としてどのような真意のもとに本事業に取り組むのか、以下の点を踏まえて伺います。</p> <p>① 本市の市営住宅の入居状況（空室状況）は。</p> <p>② 現在市が実施している定住促進に係る事業の進捗状況又実績について。</p> <p>③ 豊後大野市オリジナルの住宅とはどんな住宅か。</p> <p>④ 分譲地の区画数、面積（1区画当たり）、価格について、またその算出根拠は。</p> <p>⑤ 中九州横断道路とのアクセスに関する問題は。</p> <p>⑥ 若者を対象とした市場調査等を行ったのか。</p> <p>⑦ 住宅団地予定地周辺の環境は整っているのか。</p> <p>⑧ どのような理由で、大野高校跡地を設定したのか、またその経緯について。</p> <p>⑨ 分譲住宅の販売手段について。</p>	市長	市長

4番 小野勇治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 指定管理施設の管理運用と市の関わりについて	<p>主に観光振興を目的にそれぞれの施設指定管理を委託する中で、その運用は一概ではない。市の補助金に依存して運営が必要である場合、また自立のため、より高い収益が求められる場合などである。そこで、主に次のことについて伺う。</p> <p>① 祖母山麓青少年旅行村（ほしこが）の指定管理解約に係る経過は。</p> <p>② 俣楽の郷伝承体験館代表者の交代についてその経過は。</p> <p>③ 井崎河川公園指定管理の計画されたものとの実績の整合は。</p>	市 長	市 長
2 新農業振興計画について	<p>第3次豊後大野市農業振興計画が策定された。本市の農業振興は全ての分野における根幹であることは、市長自ら発信する言葉である。しかし、現実には多くの課題を抱えて、現場は将来への展望に危機感を持っている。それは第2次計画の5年前よりさらに深刻である。</p> <p>そこで、第3次計画の内容について伺う。</p> <p>① 第2次計画と第3次計画の違いは何か。</p> <p>② 第3次計画の目標とするものは何か。</p> <p>③ 本市の実質的担い手である高齢者の具体的対策は。</p>	市 長	農業振興課長

9番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
<p>1 豊後大野市の観光を考える</p>	<p>昨今、市の観光について、何かと大きな議論がなされている。豊後大野市の観光が、どのように変化していくのか。地域と市民と協働の想いの中、イベント、観光スポット、文化財、ジオ、エコパークの推進について市の考えを伺う。</p> <p>① 今年のチューリップフェスタの反響は。</p> <p>② その期間、その他の観光客の数的報告は。</p> <p>③ 指定管理委託のそれぞれの内容、範囲の確認は。</p> <p>④ 市内の魅力を発信する、情報提供の場は。</p>	<p>市 長</p>	<p>商工観光課長</p>
<p>2 災害の対応策を考える</p>	<p>4月14日・16日に熊本・大分に多大な被害を起した活断層による大地震は、想定外の大惨事となり、長い期間余震は続き、水道・電気・道路等のライフラインの復旧にかなりの時間がかかりそうです。被災された方々へ追悼とお見舞いを申し上げますとともに、早急な復興がなされることを望みます。</p> <p>さて、豊後大野市は大丈夫なのでしょうか。市内でも建物や農地等、被災された方がいるとお聞きしますが、このような大地震後の対応ができるのか、大丈夫なのか、不安になります。</p> <p>これを教訓にして、どのようなことが必要なのか、どのような訓練をしておくべきなのか、今一度、市の災害対策マニュアル等を再チェックしたいと思います。</p>	<p>市 長</p>	<p>市 長</p>

	その内容を伺います。		
--	------------	--	--

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 地域振興と観光交流人口の拡大について	① 地域資源を活かした地域振興の現状と課題は。 ② 昨年度設置した大分市・東京浅草の情報発信の具体例と今後の推進計画は。 ③ 「里の旅公社」今後の推進計画と情報発信はどうするのかお伺いします。	市 長	市 長
2 子育て支援について	① 待機園児の対応と今後の支援について伺う。	市 長	社会福祉課長

5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1. 熊本・大分地震について	① 熊本・大分地震発生の際の市内の状況はどうでしたか。 ② 防災対策は豊後大野市では大丈夫でしたか。 ③ 情報システムについて伺う。 ④ 危機管理はどのようになっていましたか。 ⑤ 今回の熊本・大分地震の教訓をどのように生かすか。 ⑥ 避難状況はいかがでしたか。 ⑦ 自主防災組織はどう機能したか、その点検、防災士の活用はいかがですか。	市 長	市 長

19番 渡辺一文 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 市の所有の公園について	現在市の公園管理はどのような順に整備しているのか。	市 長	商工観光課長
2 保健師について	保健師の数をもっと増やした方が良いのでは。	市 長	市 長
3 豊後大野市内の農産物をどう思うか	農産物は、年々所得は減少しているが、もっと市としては力を入れるべきではないか。	市 長	農業振興課長

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 どう向き合う伊方原発に	<p>1986年チェルノブイリ原発が爆発した。この処理に30年間に60万人が処理にかかわったが、まだ100年単位、数世代に渡ってのときを要するという。</p> <p>2016年4月26日、30周年犠牲者追悼式でポロシェンコ大統領は、チェルノブイリと東京電力福島原発での2つの事故は、人類にとってこれからも数世代の長きの挑戦となる。世界最大の人災であると述べている。</p> <p>2011年東北地震による福島第1原発がメルトダウンした。5年経過した今日でも事故処理は継続されている。</p> <p>チェルノブイリと同じように今後10</p>	市 長	市 長

	<p>0年以上数世代に渡り、事故処理していかなければならない先の見えない永久的なものであろうと考える。</p> <p>現在世界で440基、日本では43基の原発がある。</p> <p>今世界では、安全優先か経済効率か2つの潮流が続いている。</p> <p>ちなみに、ドイツ、イタリア、スイスは日本の原発事故を見て、あの日本でさえ、手に負えないものは廃止すべきと言って、すべて停止する処置を取っているという。</p> <p>① 今、熊本地震により各活断層が連動して活発な活動を続けている。この中で、日本最大の中央構造線活断層帯が、別府、四国、関西へと走り抜けている。その線上近くに伊方原発がある</p> <p>本年7月に再稼働を行うことを愛媛県中村知事は認め、四国電力は第3原発の再稼働を行うと言っています。市長はどのように受け止めていますか。</p> <p>② 伊方原発が再起動し、メルトダウンしたら豊後大野市はどういう事態を想定し、市民を守るためにどのような対応を考えているかお伺いします。</p>		
--	---	--	--

<p>2 市道牛首線について</p>	<p>① 全面通行止めが続いている市道牛首線については、旧道もふさがれていて迂回路もかなり遠回りで、三重町(市役所)へ行くのに沿線住民は非常に不便を強いられている。工事中であれば仕方ないにしても、工事を中断している間は旧道部分については通行できるよう配慮すべきと考えるが、市の見解を伺います。</p> <p>② 長期にわたって改良工事を進め住民は早期完成を待ち望んでいるが、あと何年かかるのか。また、旧道部分だけでも早く仕上げ、工事中であっても旧道部分については通行できるように先行して行うべきと考えるが、市の見解は。</p> <p>③ 牛首線の名前を変えてもらいたいとの声もあるが、由緒ある名前であり、その由来を説明すれば納得してくれると思うが、その見解は。</p>	<p>市 長</p>	<p>建設課長</p>
--------------------	--	------------	-------------